広報 常陸大宮

2017
12
No.159

市文化祭第５回芸能発表会
写真は茨城楽柊会
（関連記事 P10 ～ 11）

主な内容

P2 ～ 3　平成 29 年度上半期財政状況
P4 ～ 15　まちのできごと
P16　いきいき茨城ゆめ国体 2019
P18　市史編さんだより
P21　ふるさと見て歩き

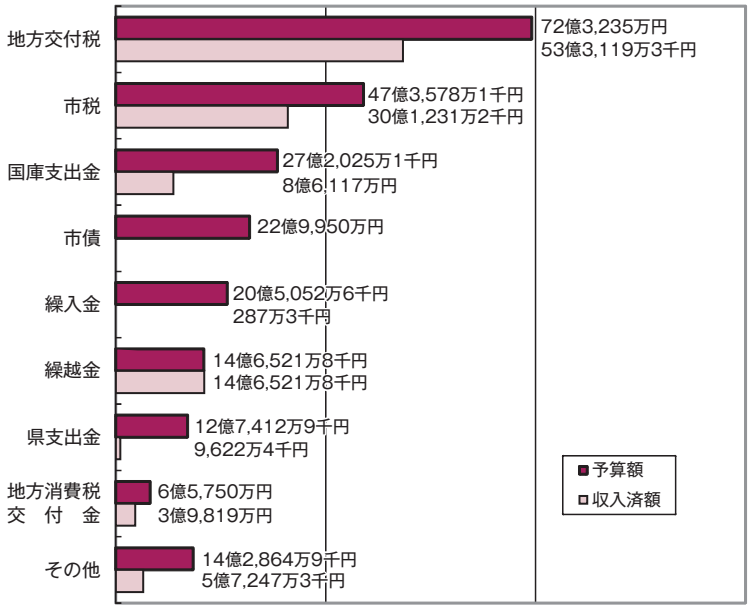
平成29年度上半期の財政状況をお知らせします

歳入　予 算 額 238億6,390万4千円
　　収入済額 117億3,965万3千円（収入率49.2%）

（※上記の予算額、収入済額及び支出済額は平成 29 年 9 月 30 日現在の

概要

平成 29 年度の当初予算は、一般会計が 222 億 8,000 万円、特別会計が 129 億 4,300 万円、企業会計（上水道事業）の収益的収支の収入で 13 億 8,494 万 2 千円、支出で 13 億 1,790 万 3 千円、資本的収支の収入で 3 億 7,879 万 6 千円、支出で 7 億 8,936 万 6 千円でした。それに前年度からの繰り越し及び政策的経費などの補正を加えた予算額は、平成 29 年 9 月 30 日現在で、それぞれ一般会計が 238 億 6,390 万 4 千円、特別会計が 134 億 3,437 万 7 千円、企業会計の収益的収支の収入で 14 億 2,766 万 6 千円、支出で 13 億 4,076 万 6 千円、資本的収支の収入で 4 億 1,539 万 6 千円、支出で 9 億 3,932 万 7 千円になっています。



特別会計の収支状況

区分		予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険特別会計	事業勘定	59 億 3,359 万 5 千円	26 億 9,018 万 3 千円	24 億 3,516 万 4 千円
	診療施設勘定	1 億 8,597 万円	1 億　256 万 7 千円	6,962 万 4 千円
公共下水道事業特別会計		9 億 1,476 万 1 千円	3 億 5,388 万 5 千円	3 億 2,051 万円
公営墓地特別会計		1,100 万円	8,210 万円	188 万 6 千円
農業集落排水事業特別会計		5 億 7,428 万 5 千円	3 億　718 万 9 千円	2 億　840 万 8 千円
介護保険特別会計		52 億 3,057 万 4 千円	24 億 3,475 万 1 千円	19 億 8,911 万 3 千円
宅地造成事業特別会計		1,120 万円	29 万 6 千円	7 万 7 千円
戸別浄化槽整備事業特別会計		4,580 万円	2,607 万円	2,150 万 5 千円
温泉事業特別会計		7,059 万 2 千円	2,611 万 9 千円	3,905 万 7 千円
後期高齢者医療特別会計		4 億 5,600 万円	1 億 5,434 万 7 千円	1 億 1,843 万 9 千円
那珂地方公平委員会特別会計		60 万円	83 万 2 千円	4 万 1 千円

上水道事業会計の状況

〔地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づく公表〕

業務状況

給水人口	40,666 人
給水件数	17,609 件
有収水量	2,296,438㎥ /9 月末
一日最大配水量	21,576㎥
一日平均配水量	18,561㎥
有収率	67.61％

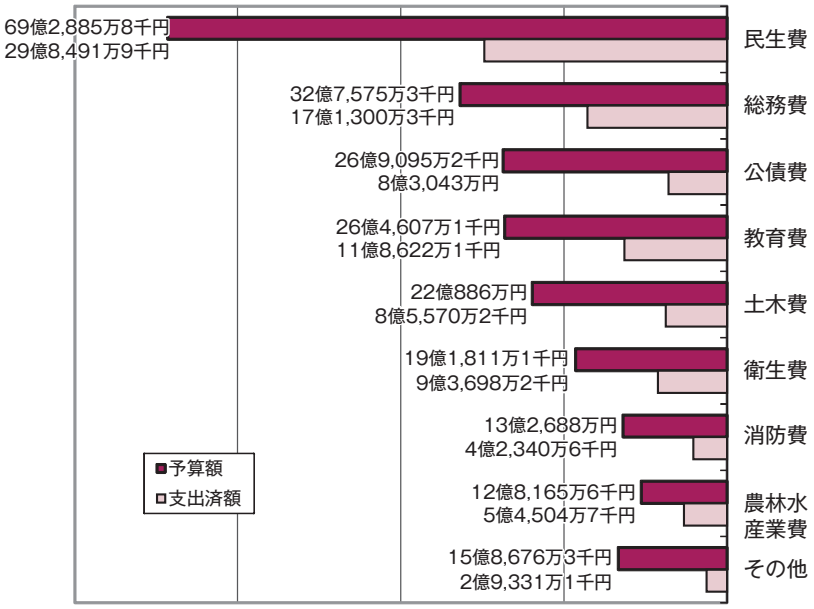
予算の収支状況

区分		予算額	収支額	収支率
収益	収入	14 億 2,766 万 6 千円	5 億 8,615 万 6 千円	41.1%
	支出	13 億 4,076 万 6 千円	2 億 5,308 万 5 千円	18.9%
資本	収入	4 億 1,539 万 6 千円	3,648 万 4 千円	8.8%
	支出	9 億 3,932 万 7 千円	1 億 8,274 万円	19.5%

資本的支出額 9 億 3,932 万 7 千円に対して資本的収入額の不足額 5 億 2,393 万 1 千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額，過年度分損益勘定留保資金で補填する予定です。

歳出　予 算 額 238億6,390万4千円
支出済額　97億6,902万1千円（執行率40.9%）

もので、平成 28 年度から繰越されたものを含めています。）



主な財産の現在高

公共施設敷地
4,931,375.29㎡

宅地
2,353.62㎡

山林，原野等
6,286,552.61㎡

建物
279,229.76㎡

基金及び出資金
135億2,140万2千円

車
205 台

市債の状況

会計区分	現　在　高	実負担割合
一　般　会　計	（54 億 9,946 万円） 246 億 6,127 万円	22.3%
国保診療施設勘定	（3,261 万円） 1 億 870 万円	30.0%
公共下水道事業	（17 億 6,604 万円） 30 億 2,404 万円	58.4%
公　営　墓　地	（2 億 2,842 万円） 2 億 2,842 万円	100.0%
農業集落排水事業	（15 億 3,152 万円） 30 億 5,692 万円	50.1%
宅地造成事業	（156 万円） 521 万円	29.9%
戸別浄化槽整備事業	（6,693 万円） 1 億 2,946 万円	51.7%
温　泉　事　業	（8,166 万円） 2 億 7,220 万円	30.0%
上水道事業	（28 億 3,846 万円） 37 億 2,501 万円	76.2%
合　　計	（120 億 4,666 万円） 352 億 1,123 万円	34.2%

※　現在高の上段（　）内の金額は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補填される市債があり、それらの市債の残高から補填される金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

○一般会計予算における
一人当たりの額　555,375 円

民生費
161,252 円

総務費
76,235 円

公債費
62,625 円

教育費
61,581 円

土木費
51,406 円

衛生費
44,639 円

消防費
30,880 円

農林水産業費
29,827 円

その他
36,930 円

○市税総額における
一人当たりの額　110,214 円

＊上記の金額は，平成 29 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳人口 42,969 人で算出しています。

■問い合わせ■
財政課　財政グループ　（内線 375）

10/10 地域安全茨城県民大会

第39回地域安全茨城県民大会が、県民文化センターで開催されました。日頃の継続した防犯活動が認められ、次の方々が受賞されました。

関東防犯連絡協議会表彰防犯功労者
　美和防犯連絡協議会　成井　文夫さん

茨城県防犯協会表彰地域安全功労者
　美和防犯連絡協議会　河野　安代孜さん

茨城県防犯協会表彰地域安全ボランティア団体
　御前山地域子どもの安全を守る連絡協議会
　平野　榮さん

茨城県防犯協会表彰優良防犯連絡員
　和田　貴勲さん（大宮）　鈴木　四郎さん（美和）
　蓮田　洋之さん（緒川）　稲毛　洋規さん（御前山）

▲左から成井さん、河野さん

▲平野さん

9/10・10/19 常陸大宮高校HIOKOホールディングス株式会社

常陸大宮高校商業科の生徒が経営する「HIOKO（ひおこ）ホールディングス株式会社」は、自分たちが経営する会社概要や遊休農地を活用した開発構想などを、市役所で市長や市職員に発表しました。

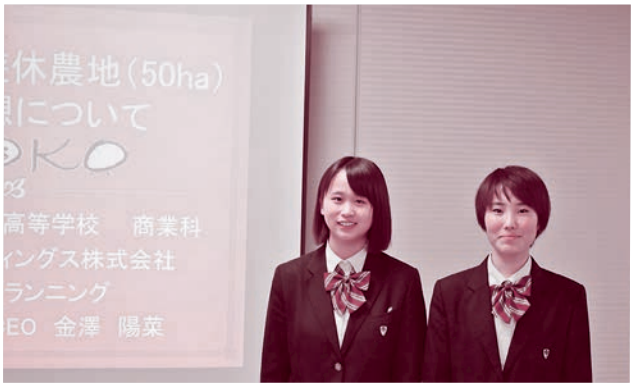
この会社は「商業科として本当の地方創生とは何か」を考え、昨年12月に全国で3校目となる高校生株式会社で、全国初のホールディングス制による「6次産業型高校生株式会社」として設立しました。

発表では、会社を設立した理念、農業経営や物販などの活動紹介と、遊休農地の利活用として、農業や宿泊、スポーツ、レストランなどのゾーンを設定したテーマパークについて、参考例を挙げながら具体的な計画の説明を行いました。

また、この取組は9月10日に境町で開催された、日本青年会議所茨城ブロック主催のビジネスコンテスト「茨城のたからを用いたわが街コンテスト」で発表し、※1）RESAS（リーサス）部門にて最優秀賞、※2）ビジネス部門では優秀賞を受賞しました。

※1）地域経済分析システムのビッグデータを用いて、茨城県の今後の未来を分析し発表する部門。
※2）県内で企業を目指す人、新規事業化を目指す個人や企業が、茨城のたから（資源、観光、物産品、技術など）を活用した事例を発表する部門。

▲発表の様子



▲左から3年金澤陽菜さん、2年舘岡藍加さん

10/23.26.27 市民大学講座

茨城大学との連携協定のもと、茨城大学の教員による市民向けの講座を開催する市民大学を開催しました。

今回の講座は茨城大学大学院理工学研究科応用量子線科学専攻の高妻孝光教授に「健康な生活のための食の化学」と題し、3回にわたって講義を頂きました。講座は、食について、糖代謝や脂質代謝といった化学的側面から考えることで、日ごろ耳にする食に関する話題が正しいのかどうかを判断する大切さや、細菌による感染症の最近の症例の状況や、食中毒を引き起こす過程などについて学びました。

▲熱心に聴講する皆さん

11/3 ふれあい広場

西部総合公園多目的グラウンドで、ふるさと祭りおおみや第29回ふれあい広場が開催されました。

今年も交流都市の秋田県大館市が出展し、きりたんぽやりんごなどの特産物を販売しました。

また、パラオ研修生もパラオコロッケなどを販売し来場者と日本語で交流しました。

▲大にぎわいの大館市ブース

▲パラオコロッケとタマ（ドーナツ）を出展

11/5 御前山トレイルラン

関東の嵐山といわれる御前山で、第2回御前山トレイルラン大会が開催されました。

今回も、ロングコース27kmや親子ハイキング6kmなど、4部門に466人が参加。普段は水が流れていない皇都川や登山道などの未舗装道を、それぞれのペースで走りました。

また、チェックポイントでは、運営ボランティアが飲み物などを手渡し、選手をサポート。参加者は紅葉を楽しみながら、気持ちの良い汗をかいた一日となりました。

▲みんな楽しかったね！

11/5 漆の魅力に触れる

山方地域の特産品である奥久慈漆の魅力に触れてもらおうと、漆塗り体験教室（主催：山方支所）を7月から11月にかけて、5回にわたり開催しました。

山方漆ソサエティの皆さんと本間健司さんを講師に、市内在住の14人が小皿と箸の漆塗りを体験。

小皿には漆工芸技法の一つである「螺鈿（らでん）」を施しました。螺鈿とは、あわびや白蝶貝などの虹色に輝く部分を切り出して漆器に装飾するもの。本来、漆器は長い期間をかけて仕上げますが、講師の皆さんの創意工夫により、短期間で実現できました。参加者は、作品の出来栄えに大満足の様子でした。

▲熱心に取り組んでいました

10/26 歌う！SHOW学校

ＮＨＫ「歌う！ＳＨＯＷ学校」の公開収録が、市文化センター大ホールで行われました。

当日は、約20倍の倍率の中から当選した約800人が会場に詰めかけ、水戸黄門に扮した先生役の五木ひろしさんと、生徒役の布施明さん、市川由紀乃さん、川上大輔さん、杜このみさん、徳永ゆうきさん、ＴＫＯの木本武宏さん、木下隆行さん、やしろ優さんによる、歌あり笑いありのステージを楽しみました。

収録の模様は、平成30年３月３日（土）、午後６時５分から、ＮＨＫ総合テレビで全国放送される予定です。

▲楽しいステージに会場は大盛り上がりでした

10/27 新常陸大宮大使誕生

常陸大宮大使は、市の魅力や情報を広く発信し、産業や文化、観光等の振興を図ることを目的として多方面で活躍している方に委嘱しています。今回新たに２人の大使を委嘱しました。

冨山（とみやま）　章一（しょういち）さん（本市出身、水戸市在住）歴史ジャーナリスト。本市の大宮郷土研究会員として積極的に活動を行うとともに、市史編さん審議会委員等などで活躍されています。

光畑（みつはた）　由佳（ゆか）さん（つくば市在住）有限会社モーハウス代表取締役。社会と子育てをつなぐ環境づくりを目指し、研究開発した授乳服を広め、「子連れワークスタイル」を実践して国内外から注目。会社としてふるさと納税返礼品に参加し、本市の魅力をＰＲされています。

▲左から光畑さん、三次市長、冨山さん

11/2 山方南小の校外学習

市内の砕石工場などで山方南小学校の６年生17人が丸山物産（株）やジオネット常陸大宮の協力のもと校外学習を行いました。

児童は、土地のつくりや地層を観察して学ぶため、広大な採石場で地層や岩盤に触れながら、この地域の土地の成り立ちの説明を聞きました。

「これも常陸大宮市の資源財産の一つです。こういう様々な郷土の良いところを学んでほしい。」と説明を受けた児童からは「常陸大宮市の昔に何があったのか分かった。」「地層、断層、古代ゾウ化石に興味を持った。」などの声が寄せられました。

▲みんな勉強になったね！

11/14 教育長賞受賞

下記２組の生徒が教育長より市教育長賞を授与されました。

●第二中学校２年の五十嵐海音さんと野上隆世さんが、「いばらき教育の日」推進大会（11月１日開催）で善行表彰されました。２人は、平成28年12月２日（金）の下校途中に、散歩していた方が急に倒れたのを発見し、後から来た大人の方がその方の自宅を見つけるまで言葉を掛け続け介抱しました。

●大宮中学校サッカー部が、茨城県中学校新人体育大会で健闘し、県ベスト８になりました。

◀左から五十嵐さん、野上さん

▶大宮中サッカー部

11/9 小中学校音楽会

文化センターロゼホールで、市内の小中学校16校が参加し、音楽会が開催されました。

開会式後、学校単位で合唱や合奏（リコーダー）、吹奏楽の演奏が披露されました。児童、生徒の皆さんは、一生懸命練習した成果をステージの上で発揮し、観客席からは大きな拍手が贈られていました。

▲（上）御前山小学校（下）緒川小学校

11/13 県功労者表彰

県勢の発展に著しい功績があった方々を称える茨城県表彰式が開催されました。

本市からは「功績者表彰」に2人、「功績団体表彰」に1団体が表彰されました。

岡山勝彦さんは、多年にわたり消防業務と消防団員の教育訓練に尽力されたこと、檜山一郎さんは、調理師の資質の向上及び調理技術の発展と食生活の向上に貢献されたことが評価されました。

また、長倉七夕まつり協賛会（代表：青柳幸雄さん）は多年にわたり地域に根ざした伝統行事を継承し、地域振興と観光振興に取り組んだことが評価され受賞となりました。

▲左から三次市長、岡山さん、檜山さん、青柳さん

11/16 デザインセレクション2017

県内の地域や産業を元気にする優れたデザインを選定する、いばらきデザインセレクション2017の表彰式が、ひたちなかテクノセンターで行なわれました。本市からは、知事選定10件にNPO法人あきない組の「へたれ侍プロジェクト」、選定20件に丸真食品㈱の「舟納豆新工場」が選ばれました。

▲（上）へたれ侍プロジェクトの皆さん
（下左）舟納豆三次社長

11/21 生活環境部長奨励賞を受賞

茨城県集団回収優良団体表彰式で小場子ども会（会長：小林奈央さん）が、生活環境部長奨励賞を受賞されました。

小場子ども会は、昭和30年ごろから廃品回収に取り組んでいる団体で、開始以降、継続して毎年実施していることや年間の回収実績などが評価され、受賞となりました。

▲後列左から4番目が小林会長

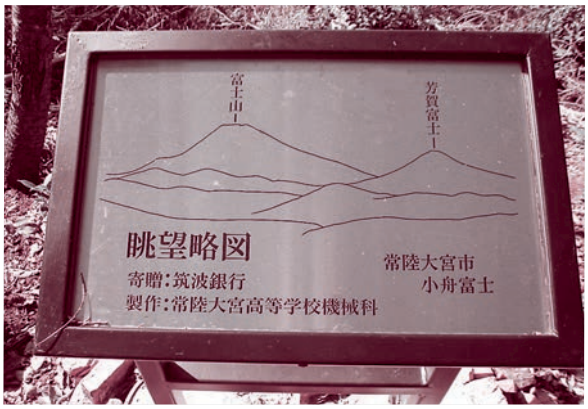
11/11 小舟富士ハイキングコースで贈呈式

おがわふれあいの森の一部の「筑波銀行の森」の新ハイキングコースに、森林の育成や保全、新コースの積極的活用を目的として、筑波銀行より眺望略図、木製ベンチが寄贈されました。

寄贈品は、常陸大宮高校機械科の生徒たちが作製。小舟富士山頂に眺望略図を１基、小瀬富士山頂と新コース内に木製ベンチを１基ずつ設置しました。

寄贈にあたり、小舟富士山頂で贈呈式が行われました。式には、三次市長、筑波銀行沼田執行役員、常陸大宮高校機械科の生徒、「おがわ富士を守る会」の掛札会長ほか関係者 40 人が参加し、目録の贈呈や記念撮影が行われました。

▲常陸大宮高校生作製の木製ベンチ



▲小舟富士山頂で記念撮影

11/19 やまがた宿芋煮会

第 20 回やまがた宿芋煮会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、直径3.5 メートル、深さ1.1 メートルの鍋で２時間以上じっくり煮込んだ芋煮を求める人の列で、会場はいっぱいになりました。

また、ステージでは、筑波大学フォルクローレ愛好会の演奏や、ゆるキャラたちのイベントなどが行われ会場を盛り上げました。

▲来場者は約１万５千人でした！

11/19 津田翔平ワークショップ

旧美和中学校体育館で、県北芸術祭 2016 出展作家の津田翔平さんによるワークショップが開催されました。

参加者約 40 人が９グループに分かれ、大きなトレーシングペーパーで本市の雄大な自然を表現した「山のようなもの」を作製しました。作品は 11 月 25 日（土）～ 12 月３日（日）の期間、道の駅常陸大宮かわプラザで展示されました。

▲かわプラザでの作品展示の様子

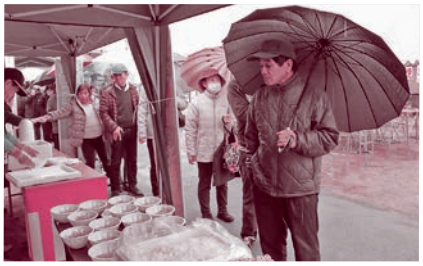
11/12 ごぜんやままつり

ごぜんやままつりが御前山支所敷地内で開催されました。屋外特設ステージでは、冠二郎さんのコンサートのほか、小学生の合唱、日本舞踊志世寿会や御前山ソーＲＡＮ、和太鼓等の芸能発表が会場を盛り上げました。また、多くの団体からの出展があり、来場者でにぎわいました。

▲お天気にも恵まれ多くの人が来場しました

11/23 道の駅みわ北斗星新そばまつり

道の駅みわ北斗星で、新そばまつりが開催されました。あいにくの雨模様でしたが、今年の新そばを求めて多くの人が朝早くから列を作り、熱々のけんちんそばを味わっていました。



▲新そばは格別ですね

11/26 駅前イルミネーション点灯式

常陸大宮駅前でイルミネーション点灯式が行われました。午後５時、三次市長の合図で街路樹に取り付けられた24,000球のLEDライトが一斉に輝きだしました。

また、歩行者天国になった道路の両側には、グルメ横丁が登場しました。このイルミネーションは来年２月25日（日）まで行われています。

▲幻想的な空間になりました

11/18 東日本少年剣道錬成大会

西部総合公園体育館で、常陸大宮市長杯第２回東日本少年剣道錬成大会が行なわれました。

静岡県から秋田県までの177団体304チーム約2,000人を超す小中学生剣士が、日頃鍛えた成果を発揮しようと対戦に臨みました。会場は寒さも吹き飛ぶほどの熱気に包まれ、大きな声援が飛んでいました。

▲真剣勝負！

11/26 野鳥観察＆ノルディックウォーキング

御前山地区でノルディックウォーキングを実施しました。本市、那珂市、ひたちなか市、東海村から84人の参加者が集まり、講師の菊田利秀さん（一般社団法人日本ノルディックウォーキング振興会上級指導士）の指導のもと、御前山ダムを１周するコースを歩きました。

ウォーキングの途中では、市史編さん委員の仲田立さんによるバードウォッチングも実施され、カワウやキンクロハジロといった鳥類を観察することが出来ました。参加者は、御前山の雄大な自然を肌で感じながら、それぞれウォーキングを楽しんでいました。

▲ウォーキングと水鳥を観察する参加者

11/24 新路線バス愛称発表式

新路線バス「緒川・玉川村駅線」の愛称発表式が小瀬高校で行われました。生徒たちが通学に使う路線バスに愛着が湧くよう、小瀬高校生と茨城大学生が協力して愛称を考案し、「ひたバス」と名付けました。

発表式は、有志の生徒により開催。式には地域住民等も招かれ、愛称の説明や吹奏楽部の演奏を交えた寸劇が行われたほか、バスの乗車体験も実施されました。普段バスを利用しない生徒がバスに乗り、自分達の「ひたバス」の乗り心地を確かめました。

▲地域のインフラとして、バスの大切さを訴えました

11/26 ひたまる先生ワークショップ

ひたまる先生ワークショップが美和工芸ふれあいセンターで開催されました。

今回も多くのひたまる先生が様々な体験講座を行い、幅広い年齢層のたくさんの人でにぎわいました。参加者からは、「とても楽しかった」、「また参加したい」との声がありました。

参加者と先生の交流はもちろん、先生同士が交流する姿も見られ、つながりを大事にした温かいイベントとなりました。

ひたまる先生会では、講座開講の依頼やひたまる先生に登録したい人の募集も行っています。事務局（市民協働課）へお気軽にお問い合わせください。

▲内容豊富なワークショップに参加者も大満足

10/22～ 各地域で市文化祭を開催

市の芸術文化の振興・発展と各種団体の交流を図るため「平成 29 年度常陸大宮市文化祭」が行われました。囲碁大会を皮切りに、各地域で作品展示や発表会等を開催。文化協会会員をはじめ学校や一般の方も参加し、日頃の練習の成果を披露しました。

市文化センターでは、芸能発表会・音楽祭・茶会・大宮地域美術展・華道展を開催し、多くの来場者でにぎわいました。芸能発表会では、特別ゲストとして当市友好都市の秋田県大館市『大館曲げわっぱ太鼓』の皆さんによる迫力ある演奏が会場を盛り上げ、観客を魅了しました。

（敬称略）

第13回 囲碁大会

開催日：10 月 22 日
参加者：26 人
優　勝　石川　和芳（那珂市）
準優勝　菊池　正則（山方）
第 3 位　長山　安行（泉）

▲左から石川さん、菊池さん

▲熱戦が繰り広げられました

第13回 将棋大会

開催日：11 月 5 日
参加者：26 人（小学生 2 人・中学生 1 人）
【1 組】優　勝　和田　知大（抽ヶ台町）
　　準優勝　田中　　誠（下檜沢）
【2 組】優　勝　片岡　　弘（野中町）
　　準優勝　高渡　利男（東富町）
【3 組】優　勝　中崎　徳男（三美）
　　準優勝　和知　　勉（高部）
【4 組】優　勝　岡山　昇一（高部）
　　準優勝　蓮田　和也（中富町）

▲皆さんおめでとうございます

▲大人も子どもも真剣勝負

各地域の文化祭の様子を写真で紹介します

第 13 回ダンス発表会（10/29）

第 13 回音楽祭（11/19）

茶会（11/18・19）

第 5 回芸能発表会（11/18）

特別ゲスト　秋田県大館市『大館曲げわっぱ太鼓』の皆さん (11/18)

大宮地域 美術展・華道展（11/17 ～ 19）

山方地域 作品展・発表会（10/27 ～ 29）

美和地域作品展（11/3・4）

緒川地域 作品展・発表会（11/3 ～ 5）

御前山地域作品展（11/11・12）

＋パラオ研修生のコーナー＋

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、子どもたちの国際感覚向上などを目的に、パラオ共和国の研修生3人が市内公立の幼稚園、小・中学校（全19校）を訪問しています。

先月号に引き続き、交流の様子を紹介します。

10/16 美和幼稚園

パラオの伝統的な楽器の「ほら貝」や、自分たちで作ったパラオの地図を見せながら園児にパラオについて紹介をしました。ジェニーは「子どもたちは私達が話すこと、見せるものすべてにワクワクしてくれているようだった。」ととても嬉しそうでした。

▲「ほら貝」の説明をするジェニー

10/18 大賀小学校

児童たちが作ってくれた名札を提げて、パラオの紹介をしました。研修生がパラオの食べ物や有名な場所の話をすると、「パラオに行ってみたい！」という声が上がりました。パラオの紹介をした後、研修生は5,6年生によるリコーダーの演奏を聴き、その素敵な音色に聴き入っていました。

▲パラオの紹介

10/19 大宮小学校

アスティンは5年1組の書写、ジェニーとケネリーは5年2組の体育（バレーボール）の授業に参加しました。「希望」という漢字を書いたアスティンは、「筆を使って文字を書くのは難しかったけど、先生や子どもたちに教えてもらいながら書くことができた。」と喜んでいました。

▲書写の授業を受けるアスティン

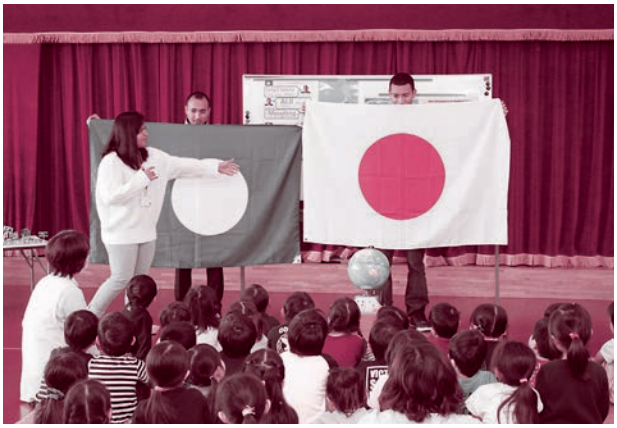
10/25 明峰中学校

3年生の音楽の授業に参加しました。生徒と交流をしながら、箏の演奏に挑戦しました。実物の箏を見たことがなかった3人は、その大きさと弾き方に驚いていました。アスティンは「初めて箏を演奏したけれど、とても楽しかった。もっと勉強して上手に弾けるようになりたい！」と話していました。

▲箏の演奏をするアスティン

10/26 大宮幼稚園

地球儀や国旗、研修生が作製したパラオの地図などを使って園児たちにパラオを紹介しました。パラオにある、クラゲと一緒に泳げる湖「ジェリーフィッシュレイク」の写真を見せると、「クラゲがオレンジ色でとてもきれい！」「見てみたい！」という声が上がりました。



▲国旗の説明をするジェニー

10/27 第二中学校

生徒と一緒に柔道の授業を行い、受け身や寝技の練習をしました。一度柔道を体験したことがあるアスティンとケネリーは柔道着を着ることにも慣れているようでした。今回初めて柔道を体験したジェニーは、ペアを組んでくれた生徒に遠慮しながら寝技の練習をしました。また、この日はパラオの家庭料理が学校給食に出た日で、「パラオコロッケ」と呼ばれるお好み焼きを生徒と一緒に食べました。

▲柔道の受け身を練習するケネリー

11/8 山方中学校

１年生が明るく元気に迎え入れてくれた山方中学校では、技術の授業で「のこぎり引き」を初めて体験しました。生徒と３人１組になり協力しながら、のこぎりを使って木を切りました。ケネリーは「先生がお手本を見せてくれたので、分かりやすかった。生徒と一緒にのこぎり引きのやり方を勉強することができた。」と話していました。

▲「のこぎり引き」をするケネリー

11/15 山方南小学校

アスティンが１年生の体育（なわとび等）、ジェニーが２年生の図工、ケネリーが３年生の書写の授業に参加し、児童と交流をしました。研修生の学校訪問では、児童や生徒と給食を食べることや、昼休み・清掃の時間を共に過ごすことも大切にしています。アスティンもみんなと一緒に廊下の雑巾がけを行いました。

▲雑巾がけをするアスティン

11/5 常陸大宮市スナッグゴルフ大会

第５回常陸大宮市スナッグゴルフ大会（主催：市教育委員会主催）が静ヒルズカントリークラブで開催されました。

競技は低学年の部、高学年の部、一般の部の３つの部門に分かれて行われ、絶好のプレー日和の中、参加者はそれぞれの部で腕前を競いあい、白熱したプレーを披露しました。

▲開会式の様子

大会結果

《低学年の部５ホール》

優　勝：佐久間　大魁さん　20ストローク
準優勝：坂井　　優空さん　21ストローク
第３位：大曽根　咲音さん　21ストローク
同スコアの場合は年齢が低い方が上位

▲前列左から坂井さん、佐久間さん、大曽根さん

《高学年の部８ホール》

優　勝：河井　翔吾さん　　27ストローク
準優勝：佐藤　隼人さん　　29ストローク
第３位：大津　陽菜さん　　30ストローク
同スコアの場合は年齢が低い方が上位

▲前列左から佐藤さん、河井さん、大津さん

《一般の部８ホール》

優　勝：大津　雅之さん　　22ストローク
準優勝：熊谷　宏幸さん　　22ストローク
第３位：貝塚　忠夫さん　　23ストローク
同スコアの場合は年齢が高い方が上位

▲左２番目から熊谷さん、大津さん、貝塚さん

《個人賞》

アルバトロス賞：貝塚　忠夫さん（一般の部）
　　貝塚　優希さん（一般の部）
　　上久保　洋一さん（一般の部）

▲左から貝塚優希さん、貝塚忠夫さん、上久保さん

スポーツ大会結果

第26回常陸大宮市民ゴルフ大会

開催日：平成29年10月24日（火）
主　催：市ゴルフ連盟（会長：大瀧　愛一郎）
会　場：静ヒルズカントリークラブ
参加者：104人

優　勝　五位渕　昭さん
準優勝　渡辺　勝秀さん
第3位　平野　啓太郎さん
第4位　小野瀬　優さん
第5位　渡辺　光一さん
男子ベストグロス　渡辺　勝秀さん　73
女子ベストグロス　永田　和子さん　105

第37回常陸大宮市近郊中学校サッカー大会

開催日：平成29年11月11日（土）・12日（日）
主　催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会　場：西部総合公園多目的グラウンド　他2会場
参加チーム：18チーム

優　勝　大子町立大子中学校
準優勝　常陸大宮市立大宮中学校
第3位　水戸市立内原中学校
敢闘賞　常陸大宮市立山方中学校

第21回ミックスバレーボール大会

開催日：平成29年11月5日（日）
主　催：市バレーボール連盟（会長：相田　仁史）
会　場：西部総合公園体育館
参加チーム：10チーム

優　勝　ウイングス
準優勝　ステップ
第3位　SOYA

▲優勝したウイングスの皆さん

いっしょにまちづくり

常陸大宮市のために私たちができること

▲NPO法人あきない組
理事長　茅根　和史さん

NPO法人あきない組の茅根和史です。あきない組の活動を始めて13年目を迎えます。メンバーは商店街で商売をしている2～4代目の22人で活動をしています。主な活動は、大宮中心商店街の再生活動、あきない祭、ハロウィンスタンプラリー、ミニ四駆ギネス世界記録、買い物弱者支援事業、へたれ侍プロジェクト、地域で行われるイベント協力など、地域が抱える問題や、その時代のニーズに沿った取り組みを行っています。

私たちがこういった取り組みを行うのには理由があります。人の繋がりというのが薄くなっている現代、コミュニケーション能力も低下しています。こういった問題を解決するために、みんなが楽しめる場所を提供し、一人一人が顔見知りになり、暮らしやすい安心で安全なまちづくりが出来ればと考えています。そういった中で、私たちは「○○屋のおっちゃん」であり続け、街の顔として全力で活動に取り組んでいきますので、これからも応援よろしくお願いします。

【お詫びと訂正】
11月号のいっしょにまちづくりに寄稿頂いた、寺門希望さんの振り仮名に間違いがありました。
正しくは「のぞむ」さんです。お詫びして訂正致します。

いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会　翔べ　羽ばたけ　そして未来へ

愛媛国体なぎなた競技会視察

10月1日（日）～3日（火）、愛媛県松山市総合コミュニティセンター体育館で開催された、第72回国民体育大会(笑顔をつなぐえひめ国体)なぎなた競技会を視察しました。

松山市では、正式競技17競技が開催され、市内全体が歓迎ムード一色となっていました。

茨城国体に向けて皆さんで盛り上げていきましょう。

▲松山空港の歓迎横断幕

▲松山空港内の歓迎装飾

▲三次市長と茨城県選手団

いばラッキーがゆく ー国体PR作戦ー

10月28日（土）明峰中学校文化祭「明峰祭」に参加し、ステージ発表で出演した生徒たちを盛り上げました。

11月3日（金）ふれあい広場で、茨城県広報ボランティアと一緒に「国体ダンス」を踊りました。

11月9日（木）・10日（金）大賀小学校で行った「あいさつ運動」に参加し、地域の皆さんと一緒に元気にあいさつをしました。

11月12日（日）ごぜんやままつりのオープニングセレモニーに参加しました。ブースでは缶バッチやシールを配布し、国体をPRしました。

11月19日（日）やまがた宿芋煮会に参加し、たくさんのゆるキャラやお客さんと触れ合うことができました。

ボランティアを募集しています

なぎなた競技会の大会準備や運営等にご協力いただけるボランティアを募集しています。

◇活動期間

第59回都道府県対抗なぎなた大会（リハーサル大会）
　平成30年5月25日（金）～27日（日）

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会
　平成31年9月28日（土）～10月1日（火）

◇活動場所

西部総合公園体育館　ほか

◇活動内容

・受付、案内　・弁当配布　・休憩所での接待
・環境美化　・会場整理　ほか

■問い合わせ■

いきいき茨城ゆめ国体常陸大宮市実行委員会事務局
（常陸大宮市教育委員会文化スポーツ課国体準備室内）
TEL　0295-53-6501　FAX　0295-53-6502

地域おこし協力隊がゆく

No.20

▲美味しい干し芋を作っています

農家民泊推進担当の間瀬です。

民泊を推進していくうえで、農業の振興が必要不可欠！今年４月から畑を始めて８か月が経ち、多くの方の手助けや助言をいただきながら、冬野菜の収穫までたどり着くことができました。

私は、常陸大宮市の野菜は特に冬が美味しいと感じています。中でも、冬の寒さで甘味が増す人参やほうれん草、芋煮会などで使用される里芋、そして、干し芋の原材料となるさつま芋など、どれも絶品揃いです。

地域に強みがあることは、とても頼もしく感じ、将来はその強みを活かした仕事に結びつけていきたいと思います。

野菜などの商品販売、農業体験の申込みを受け付けています。

【常陸大宮さんち】ホームページアドレス　https://hitachiomiya-sanchi.com

ひたまる先生を紹介します vol.3

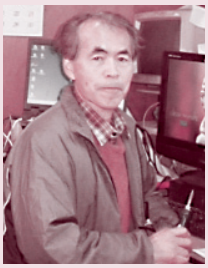
ひたまる先生とは健康、文化などの分野で豊富な知識や技術を持ち、ひたまる先生会に登録された方のことです。市民が「いつでも・どこでも・誰とでも」楽しく学びあえる場を提供しています。

楊名時太極拳の青木はる子です。

楊名時太極拳は健康法として広く知られていますが、深い呼吸で動くことから動く禅とも言われています。自分の体に合わせ、無理なく行うことが私に向いていたようで、長年続けています。ゆっくりとした動きと、左右別々の手足の動きが体と脳に効果があると、老若男女幅広く親しまれています。急がずゆっくりと学ぶことを心がけ、生徒さんたちと和やかな雰囲気のなか楽しく稽古を続けています。

秋には親水公園で稽古を楽しみました。たくさんの方とご一緒できることを楽しみにしています。

【問い合わせ】☎ 0295-55-2076



電子工作の野上文天です。

小さい頃、電気工作が好きで子どもなりの秘密基地で遊んでいました。今でも同じ様な部屋でシステム開発をしたり、教えたりしています。ほぼベースインフラが整った現代の中で、基礎から、これらシステムを支える事もできる若い世代との、始めの一歩にかかわっていければと思います。

過去にエジソンやテスラが研究した電気システムや、自分の年代と同期したデジタルテクノロジーの夜明けからの話とスキルを、ひたまる先生として生かしていければと思っています。

【問い合わせ】☎ 090-1116-4661

Vol.42 職員のつぶやき ～職員リレートーク～

社会人経験を生かして頑張っています。

都市計画課の菊池雄治です。

私は現在、施設の営繕工事における積算や設計、現場監理の業務を行っています。４月に採用されて不安も多々ありましたが、周りの先輩方の温かいご指導により、仕事にもようやく慣れてきました。

現在、様々な関係者とのやりとりや、営繕工事の現場に係ることに、非常にやりがいを感じて業務に取り組んでいます。

まだまだ分からないことばかりですが、これから少しでも市に貢献できるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

常陸大宮市史編さんだより　Vol.16

双六（すごろく）からみえる常陸大宮の町並み

佐藤　美弥
埼玉県立文書館学芸員
近現代史部会専門調査員

近現代史部会では、まず合併前の町村史などに学びながら、新しい常陸大宮市史では、どのような特色を出すか、どのような組み立てがよいかを議論することから始め、本格的な調査に着手しようとするところです。

部会での議論で一致していることは、常陸大宮に生きた人々の気持ちや行動が具体的にわかる、「顔のみえる歴史」を、ということです。一口に地域の歴史といっても、様々な側面があります。政治や行政、経済や産業、そして生活や文化。とりわけ生活や文化のようすは人々の日常に近いだけに、意識的に記録が作られることが少なく、なかなか後世に伝えられません。そこで様々な資料にあたっていく必要があります。

さて、ここに旧大宮町の商店を掲載した双六、「大宮町協同商店写真集双六」があります。【図】

【図】大宮町協同商店写真集双六（市教育委員会蔵）

23の商店の写真がはめ込まれたコマをめぐると最後に甲神社で上がりとなる趣向です。地域の中心的な商業地だけあって3軒の宿屋、2軒の料理屋が掲載され、また醤油醸造所、薬品店や書店、そして自転車店なども載っています。土蔵造の店舗もみえる一方で、茅葺きの建物もみえるといった町の風景や店先のようすまで分かります。

問題は、この双六はいったいいつ頃作られたのか、ということです。欄外に「写真師檜山静峰」が発行し、「水戸市南町大正印堂」が印刷したとありますが、残念ながら発行年月日はありません。コマのなかにヒントはないでしょうか。7番「満寿屋料理店」には「専売所側」という説明があります。「専売所」とは、1897（明治30）年に設置された、葉たばこの専売所のことでしょう。どうやら明治30年代以降に作られたもののようです。次にそれぞれの写真を見てみると、22番の「黒澤書肆」の写真には書店の店先に立て看板があり、ぼんやりと「全科表解」と書いているように読めます。国立国会図書館のデータベースで調べてみると、「全科表解」とは子ども向けの学習参考書で、同館には1910（明治43）年から1913（大正2）年のものが所蔵されています。同書はその後、昭和の初め頃まで出版されたようです。

こうして双六が作られただいたいの時期を推測できました。当時、この双六は地元の商店がお金を出し合い販売促進のためにお客さんに配布した生活に身近な「ちらし」のようなものだったのでしょう。それが約100年経過した現在、かつての町並みを記録し歴史を語る貴重な資料となっているのです。

探しています！
古文書・古写真・古い石塔・昔話・珍しい動植物などは、本市の歴史を調査する重要な手がかりです。
お心当たりがありましたら、ぜひご一報ください。

■問い合わせ■
文化スポーツ課
文化・スポーツグループ　☎52-1111（内線344）

かがやきだより vol.5

1 日の食事バランスを確認しよう

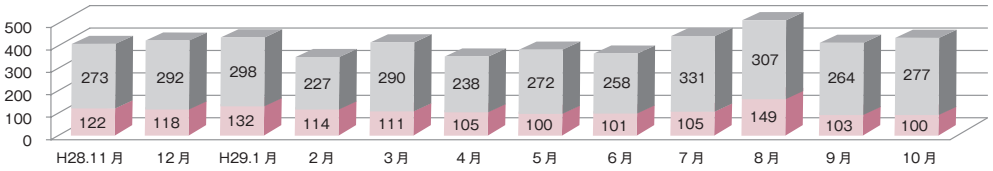
☆下表の「1 日のバランス食基準量」程度の食品を毎日食べることで、健康を保つために必要な栄養を摂ることができます。

食べた食品群に〇を付けてみましょう。（少量でも構いません）
3 食で〇がつかなかったところは、今後バランスを意識して食べるようにしましょう！

食品群		1 日のバランス食　基準量（成人）		朝食	昼食	夕食
		重量	食品例			
1 群	牛乳・乳製品	200g	普通牛乳 コップ 1 杯			
	卵	50g	M サイズ 1 個			
2 群	魚介類	50g	生鮭 1/2 切れ			
	肉類	50g	豚もも肉 薄切り 2 枚			
	豆・大豆製品	110g（豆腐で）	豆腐 1/4 丁			
3 群	緑黄色野菜	150g	人参　小 1/2 本 ほうれん草 5 ～ 6 株 トマト 1/2 個 (50g)			
	淡色野菜	250g	大根厚切り 1 切れ キャベツ 1 枚 玉ねぎ 1/4 個 白菜大 1 枚			
	芋類	100g	じゃが芋　中 1 個			
	果物類	80kcal 分	みかん　M2 個			
	きのこ類	50g	えのき 1/2 パック			
	海藻類	50g 高血圧は 30g	乾燥ひじき　小さじ 1			
4 群	砂糖類	年齢・性別・体重・活動量によって変わります 詳しくは市の栄養士までご相談ください				
	油脂類					
	穀類					

常陸大宮済生会病院　救急患者受入状況

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）



知って得する
消費者情報 66

二十歳になりたての若者のトラブルに気をつけましょう！

消費生活センター等に寄せられる相談をみると、二十歳になった若者（成人）からの相談件数は未成年者と比べて多く、その契約金額も高額です。そして、「サイドビジネス」や「マルチ取引」、「エステティックサービス」に関する相談が多く寄せられているという特徴がみられます。

また、ＳＮＳを通じて知り合った人から儲け話を持ちかけられたり、高額な契約をさせるために借金を勧めたりするという事例が少なくありません。社会経験が乏しい若者を狙う悪質な業者もいるため注意が必要です。

〈相談事例〉

●街中で声をかけられ、タレント事務所に同行して所属契約をした。翌日解約を申し出たら、違約金を請求された。

●友人から儲かる話があると言われ、仮想通貨の投資のような契約をしたが、解約したい。

●ＳＮＳで知った女性に連れて行かれた事務所で自己啓発セミナーの契約を勧められ借金で会費を払うよう言われた。

〈問題点〉

●契約に関する知識が乏しいことに乗じて契約をさせられてしまう。

●「絶対儲かる」など、うまい話に弱い。

●借金やクレジット契約を提案するなどして高額な契約をさせられてしまう。

〈消費者へのアドバイス〉

●いったん結んだ契約は「やっぱりやめたい」と思っても容易にやめることはできません。契約責任を負う成人であることを自覚し、安易な気持ちで契約しない。

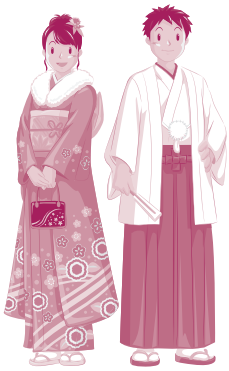
●簡単に大金を得ることは通常はあり得ないので、うまい話には飛びつかない。

●「今日なら安くなる」などと言われてもその場で契約しない。きっぱり断ることも勇気！

●クレジット契約の利用や借金は慎重に。

・安易にクレジット契約をしない。

・借金をしてまで契約しない。



■問い合わせ■

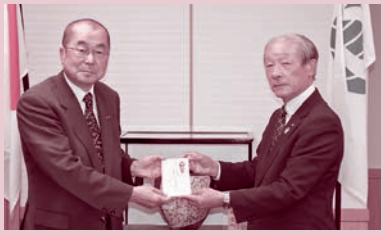
茨城県消費生活センター　☎ 029-225-6445

常陸大宮市消費生活センター　☎ 0295-52-2185（直通）（本庁商工観光課内）

※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

善意をありがとう

＜社会福祉協議会へ＞　（順不同・敬称略）



JA常陸大宮地区組合員　85,633円

鷲子山の十景七奇

鷲子山は栃木県と茨城県の県境に存在する標高約470mの山で、山頂には鷲子山上神社があります。この神社へ続く石の階段をのぼる途中、楼門の左手前に鷲子山の十景七奇を刻した石碑があります。

【十景七奇とは】

十景七奇の碑

「十景七奇」とは、2代水戸藩主徳川光圀が鷲子山を訪れた際に選んだとされる10のすぐれた景観（十景）と、7つの不思議（七奇）のことです。これを元に、9代水戸藩主徳川斉昭の命令により、藩の学者青山延寿が碑文の元となる文字を書き、鷲子村の薄井宗七が嘉永4年（1851）に十景七奇の碑を立てました。

【鷲子山十景】

十景は以下の10の景観が選ばれ、石碑では「鷲子山十景」と刻まれています。

①「海天旭日」：太平洋からのぼる朝日。現在では成長した木々により見ることができません。
②「晃山霽色」：雨上がりの晴天下の日光連山の景色。
③「富士晴雪」：晴れた日に見える冬の富士山。
④「村家炊煙」：民家から立ちのぼる朝夕のかまどの煙。現在、かまどが使われなくなり見られません。
⑤「杉林初月」：杉林の中から見る三日月。
⑥「鹿浦眺望」：鹿島浦の眺め。こちらも①と同じく木々の成長により現在では見られません。
⑦「河川帆影」：那珂川に見える帆掛け舟の影。現在は見られません。
⑧「雨堤暁晴」：雨堤（表参道旧道の地名）での明け方の晴れやかな気分。
⑨「野寺晩鐘」：周辺のお寺の夕暮れ時の鐘の音。
⑩「烏山城塁」：烏山城。今は城跡になっています。

【山中七奇】

七奇は、以下の7つが選ばれ、石碑では「山中七奇」と刻まれています。

①「神酒」:旧暦10月16、17日（現在は11月の第3土曜）に行われる夜祭にお供えする一夜酒。今は夜酒ではありませんが、神酒や供物と同じものを人も飲食する神人共食の儀式が存在します。
②「神烏雌雄」:鷲子山にはカラスがオス、メス1匹ずつ、2匹しか生息せず、子を産んだとしても2匹になるようにカラスが出て行くという伝説。
③「井中石亀」：水が出ないはずの山上の井戸に亀形の石を沈めると水が出るようになったという伝説。この井戸は「亀井戸」と呼ばれ現在も神社に存在します。
④「禁不祥」（禁不浄）：月経の女性が亀井戸の水をくむと濁るので、くむのを禁止したという伝説。
⑤「柿実 在建武村」：夜祭にお供えした、実が三つ房の形に成る不思議な柿。この柿の成る木が建武村（現栃木県那珂川町建武）にありましたが、現在は枯れてしまっています。
⑥「三本蘆 在矢又村」：祭神にささげる幣束の串にするための葦。1つの株から3つ芽が出る珍しい葦で、矢又村（現栃木県那珂川町矢又）に存在します。
⑦「阿良沙巨」（阿良左巨）：アラサゴ（籾）とツキサゴ(白米）を夜祭にまく神事。

※十景七奇で読みが不明な箇所についてはルビを記載していません。

【鷲子山と光圀】

光圀は藩内の見回りをする一環として、延宝元年（1673）9月と元禄8年（1695）8月に鷲子山を訪れています。しかし、十景では冬の富士山、七奇では10月の夜祭に関することを選んでおり、光圀はこの2回以外にも鷲子山を訪れていたのではないかと想像されます。この地は光圀にとって、十景七奇を思わず選んでしまうほどに、風情を感じ、好んで何度か足を運ぶ場所だったのかもしれません。

「十景七奇」の中には、現在もいくつか見ることのできるものがあります。光圀の感じた風情を探しに鷲子山に出かけてみてはいかがでしょうか。

＜参考文献＞
『馬頭町史』（馬頭町、1990年）
『水戸藩領時代の武茂郷』（馬頭町教育委員会、2002年）
『鎮座千二百年記念誌 鷲子山上神社』（鷲子山上神社社務所、2007年）

■問い合わせ■
文化スポーツ課　文化・スポーツグループ
☎52-1111　（内線344）

御前山青少年旅行村で消防訓練

10月14日行われたこの訓練は、いいことといっぱい体験隊（アイアイ体験隊）の活動と御前山防火クラブの訓練を兼ねたもので西消防署員も協力しました。

訓練では、西消防署員の指導のもと水消火器を使った消火訓練や飯ごうなどを使った炊き出し訓練が行われました。普段では使う機会がないものなので、体験隊の子供たちは熱心に訓練に取り組んでいました。全ての訓練終了後、実際に作ったおにぎりや豚汁、焼き芋、そしてさつまご飯などをみんなで美味しく食べました。

▲順番まだかな？

▲消火器の使い方を教わってさぁ放水！

▲飯ごうでごはんを炊きました！

平成29年度常陸大宮市防災訓練

10月21日御前山小学校で実施しました。
近隣住民や児童の避難訓練から始まり、消防と警察による倒壊車両および倒壊家屋からの救出など震災を想定した訓練をしました。会場内では炊き出しや各関係機関の車両展示など様々なブースが設置されてたくさんの人が参加しました。

第１回子どもメディカルラリー

10月22日東消防署で実施しました。午前中、事前講習としてメディカルラリーで行う応急処置を学びました。午後から各チームに分かれて、様々な応急手当を想定した３つのシナリオステーション、救助や放水を体験できる２つのサービスステーションを体験しました。

シナリオステーションでは、苦しんでいる人やケガをしている人をチーム内で助け合いながらいかに早く通報し、適切な処置ができるかを得点形式で競い合います。助けてくれるような大人の人がいないという難しい状況の中で、何をすべきかを自分たちで考えて行動を起こしていく様子は、とても頼もしく感じました。一方のサービスステーションでは得点は関係なく、救助隊として煙が立ち込める暗闇の中から箱を探し出し、２階のマンホールから降下して脱出するブースと、消火器体験や実際に火災現場で使用するホースと筒先での放水体験ができるブースがあり、とても楽しそうに体験していました。

シナリオステーションで得点が高かったチームには賞状とトロフィーが授与されました。

国内では２ヶ所目で５回目として開催された子どもメディカルラリーは、大盛況のなか終了しました。

▲シナリオステーションの様子

▲特別チームのパラオ研修生と渡辺ヘルムート直道さん

消防本部鹿島副士長の寄稿を紹介します

世界警察消防競技大会 in ロサンゼルス

大盛況のなか大会が終了し、友人がいるLAFD（ロサンゼルス市消防局）の消防署で署内見学と訓練に参加しました。今回訪れた63分署は、ベニスビーチという大変有名な場所の近くにあり、はしご車１台、タンク車１台、ポンプ車１台、救急車１台の計４台を保有している消防署です。

アメリカの消火活動の特性から消防車両には10以上のはしごが積載されています。当本部のはしごは金属製を使用しているので、63分署ではすべて木製を使用していることにとても驚きました。

車庫の真ん中にはポールがありました。LAFDの消防署では今でも出動時にポールを使用して階下へ降りるそうです。

その後、ファイヤーファイターサバイバル（FFS）という訓練に参加しました。

現場活動中に急激な爆発現象で受傷したり、何らかの原因で消防士が倒れてしまった等の危機的状況に陥った場合の脱出・救出方法のプログラムです。

目隠しした状態でホースを伝って様々な障害を経て、脱出口を見つけてはしごから脱出する訓練や、同じような状況の下で要救助者を発見し搬送する訓練など様々な想定の訓練をしました。本格的な設備で行ったので自分自身が危機的状況に陥る状況を理解し、その極度の緊張感の中で活動する貴重な訓練となりました。

▲車両の大きさと資機材の多さにびっくり

▲63分署のポンプ車

ひたまるがゆく

11月19日に開催された第20回やまがた宿芋煮会に登場したひたまる。当日は晴天にも恵まれ、およそ1万5千人が来場。「関東一の大鍋」で、地元食材をふんだんに使った芋煮はすべて完売しました。

ひたまるの出番のゆるキャラコーナーは、お友達が各自治体や企業から駆けつけてくれて大盛り上がり！ひたまるは、いばラッキーと一緒に2019年に開催されるいきいき茨城ゆめ国体と常陸大宮市のＰＲをしました。

美味しい芋煮とたくさんのお友達に囲まれ、楽しい1日を過ごしたひたまるでした。

▲みんなでニッコリ♪

スポーツクラブひたまる25情報局 Vol.40

12月3日、旧大場小学校で行われたクラブ祭の中でにぎわいを見せたのが、ヘルスバレーボール大会でした。ヘルスバレーボールは、大きくて柔らかい楕円形のボールを使い、ネットもバレーボールに比べて低いため、バレーボール初心者や高齢者の方も積極的に参加しやすいスポーツです。ヘルスバレーボールに興味のある方は、ぜひスポーツクラブひたまる25にお問合せください。

■問い合わせ■
スポーツクラブひたまる25事務局　☎55-9666
文化スポーツ課　文化・スポーツグループ
☎52-1111（内線342）

御前山ビオトープ周辺の植物等

福島県、新潟県から南の本州、四国、九州にかけて分布する常緑性のシダ植物で、日当たりのよい乾燥した林縁や林内などに生育します。地中の茎から伸びた葉の軸は、毎年春になると軸の先に1対の羽片（うへん）を伸ばして成長し、更に次の年には1段上に羽片をつけて長さ2ｍに達することもあります。古くなった羽片は枯れていきます。正月のお飾りに使われます。

ウラジロ

（ウラジロ科ウラジロ属）
（写真・データ提供　御前山ダム環境センター）

常陸大宮市の人口

（12月1日現在・推定常住者）
総人口 41,275人
（男 20,351人　　女 20,924人）
世帯数　16,079世帯

Twitter 常陸大宮市 @hitachiomiya_ HITACHIOMIYA

QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮　12月 第159号

発行日　平成29年12月25日
発行/常陸大宮市　編集/秘書広聴課
〒319－2292　茨城県常陸大宮市中富町3135－6
TEL 0295(52)1111　FAX 0295(53)6010
E-mail　hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp
ＵＲＬ　http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

VEGETABLE OIL INK 再生紙と植物油インクを使用しています。